

令和5年3月29日

宮津市長 城崎雅文 様
宮津市議会議員 徳本良孝 様

ゲノム編集トラフグ「22世紀ふぐ」のふるさと納税について

食のコミュニケーション円卓会議
代表 市川まりこ

私たちは「食の問題についてより良いコミュニケーションを育みたい」との思いから主婦、事業者、研究者、教育者、メディアや行政関係者など様々な立場のメンバーが互いに学びあうという精神で集い、科学的根拠に基づく学びや体験、対話の中から得られた成果を社会へ伝える活動を進めている消費者団体「食のコミュニケーション円卓会議」<http://food-entaku.org/>です。

ゲノム編集技術は、SDGsを実現するために国の「バイオ戦略2019」にも位置づけられた重要な技術です。日本では、世界に先駆けてゲノム編集技術を利用したGABA高蓄積トマトや肉厚マダイ、高成長のトラフグが開発されました。しかし、このような重要な新技術も、社会の中で活用されなければ、その価値を發揮できません。

私たちは、「22世紀ふぐ」のような画期的な新品種を開発された関係者のご努力に深く敬意を払うとともに、宮津市においてふるさと納税の返礼品などを通して研究の成果を社会に還元されていることはゲノム編集技術の普及・発展への貢献という点においてもその先見性が高く評価されるものと考えております。さらに、このような先進的技術を活用した付加価値の高い製品の拠点としての実績が日本国中で認識され、宮津市の繁栄につながることを期待しています。

宮津市におかれましては、新技術の成果をワクワクと楽しみにしている私たち消費者の選択の自由が、一部の人たちの偏見や、科学を無視した間違った不安情報によって理不尽に奪われることの無いよう、今後とも、「22世紀ふぐ」のふるさと納税の返礼品としての活用を継続していただくようお願い申し上げます。

以上

連絡先

〒

電話

市川まりこ